



平成30年3月期 第2四半期決算短信(IFRS)(連結)

平成29年10月25日

上場会社名 株式会社アドバンテスト
コード番号 6857 URL <https://www.advantest.com/investors>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部長
四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 吉田 芳明
(氏名) 藤田 敦司
配当支払開始予定日

TEL 03-3214-7500
平成29年12月1日

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	88,412	16.0	7,412	10.9	6,372	30.1	4,926	32.2	4,926	32.2	5,570	
29年3月期第2四半期	76,195	11.8	8,318	24.6	9,115	50.0	7,261	143.9	7,261	143.9	2,939	

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円	銭	円	銭
30年3月期第2四半期	27.80		25.42	
29年3月期第2四半期	41.56		37.96	

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	%	
30年3月期第2四半期	228,691		113,895		113,895		49.8	
29年3月期	231,603		109,517		109,517		47.3	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
29年3月期		13.00		12.00	25.00
30年3月期		9.00			
30年3月期(予想)				17.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	180,000	15.4	18,000	29.4	17,000	13.2	14,500	2.1	14,500	2.1	81.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付P.4「(4)今後の見通し」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	199,566,770 株	29年3月期	199,566,770 株
----------	---------------	--------	---------------

期末自己株式数

30年3月期2Q	22,121,656 株	29年3月期	22,736,166 株
----------	--------------	--------	--------------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	177,199,310 株	29年3月期2Q	174,692,143 株
----------	---------------	----------	---------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本短信には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況.....	P. 2
(1) 経営成績の概況.....	P. 2
(2) 財政状態の概況.....	P. 3
(3) キャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 今後の見通し.....	P. 4
2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記.....	P. 5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書.....	P. 5
(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書.....	P. 7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書.....	P. 10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	P. 11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
(セグメント情報)	P. 12
2017 年度第 2 四半期 決算(連結)の概要	P. 14

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績の概況

当第2四半期連結累計期間(2017年4月1日～2017年9月30日)の状況 (単位:億円)

	2017年3月期 第2四半期連結累計期間	2018年3月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	723	1,056	46.1%
売上高	762	884	16.0%
営業利益	83	74	△10.9%
税引前四半期利益	91	64	△30.1%
四半期利益	73	49	△32.2%

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、全体としては緩やかな回復基調が維持されました。先進国では、米国経済が堅調に推移したことに加え、欧州や日本でも景気回復が加速する動きが見られました。また中国などの新興国でも、経済成長が続きました。

半導体関連市場においては、自動車電装化の進展を背景に、車載半導体やセンサーの需要が伸びました。また、データセンター向けなどで3次元NAND型フラッシュメモリをはじめとしたメモリ半導体への需要が大きく増加し、生産能力増強のための投資が積極的に行われました。一方、中国製スマートフォンの生産調整が長期間にわたったことで、関連する半導体の生産設備投資は軟調でした。

当第2四半期連結累計期間の平均為替レートは、米ドルが111円(前年同期107円)、ユーロが124円(同120円)となりました。

このような事業環境のもと、当社は、スマートフォン関連半導体の設備投資減少による影響を抑えるべく、需要が旺盛なメモリ半導体および車載半導体向け半導体試験装置の市場シェア伸長に取り組みました。

その結果、受注高は1,056億円(前年同期比46.1%増)、売上高は884億円(同16.0%増)となりました。一方利益面では、採算性が良いスマートフォン関連半導体向け製品の売上高比率が前年同期に比べ低下したこと、ならびに製品供給能力拡大への投資を進めた結果、営業利益は74億円(同10.9%減)となりました。ユーロに対するドル安の進行により欧州子会社のドル建て資産で為替差損が生じたことで、税引前四半期利益は64億円(同30.1%減)、四半期利益は49億円(同32.2%減)となりました。海外売上比率は92.3%(前年同期89.1%)です。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<半導体・部品テストシステム事業部門>

(単位:億円)

	2017年3月期 第2四半期連結累計期間	2018年3月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	471	704	49.6%
売上高	513	577	12.3%
セグメント利益	115	77	△33.2%

当部門では、非メモリ半導体用テストシステム事業は、中国スマートフォンの在庫調整に伴い、関連する半導体企業の設備投資が落ち込みました。しかし、車載半導体向け、有機ELや液晶ディスプレイドライバ向け製品は、堅調な需要が続きました。メモリ半導体用テストシステム事業は、メーカー各社で大規模な設備投資が実行されたことにより、受注高と売上高が前年同期に比べ大きく伸びました。

以上により、当部門の受注高は704億円(前年同期比49.6%増)、売上高は577億円(同12.3%増)、セグメント利益は77億円(同33.2%減)となりました。

<メカトロニクス関連事業部門>

(単位: 億円)

	2017年3月期 第2四半期連結累計期間	2018年3月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	114	220	92.7%
売上高	109	168	54.7%
セグメント利益	△14	7	—

当部門では、メモリ半導体メーカーの生産能力増強投資が積極的に行われ、メモリ半導体用テストシステムと事業関連性の高いデバイス・インタフェース製品の需要が伸びました。また、堅調な車載半導体向けの投資がテスト・ハンドラの需要を支えました。

以上により、当部門の受注高は220億円（前年同期比92.7%増）、売上高は168億円（同54.7%増）、セグメント利益は7億円（同21億円改善）となりました。

<サービス他部門>

(単位: 億円)

	2017年3月期 第2四半期連結累計期間	2018年3月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	138	132	△4.4%
売上高	140	139	△0.5%
セグメント利益	16	11	△28.9%

当部門では、半導体市場が全体として活況だったことを背景に、フィールドサービスに対する需要が安定的に推移しました。また、SSDテスト事業において、今後の売上拡大に向けた成長投資を実施しました。

以上により、当部門の受注高は132億円（前年同期比4.4%減）、売上高は139億円（同0.5%減）、セグメント利益は11億円（同28.9%減）となりました。

(2) 財政状態の概況

当第2四半期末の総資産は、前年度末比29億円減少し、2,287億円となりました。この主な要因は、現金および現金同等物が36億円、営業債権およびその他の債権が22億円それぞれ減少したこと、棚卸資産が36億円増加したことなどによります。負債合計は、社債の償還により150億円減少したこと、営業債務およびその他の債務が33億円、退職給付に係る負債が25億円それぞれ増加したことなどにより、前年度末比73億円減少し、1,148億円となりました。また、資本合計は1,139億円となり、親会社所有者帰属持分比率は前年度末比2.5ポイント増加し、49.8%となりました。

(3) キャッシュ・フローの概況

当第2四半期末における現金および現金同等物は、前年度末より36億円減少し、917億円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益64億円を計上したことに加え、営業債務およびその他の債務の増加(31億円)、営業債権およびその他の債権の減少(25億円)に、減価償却費などの非資金項目等の損益を調整した結果、110億円の収入（前年同期は、182億円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、8億円の収入（前年同期は、14億円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入(18億円)および有形固定資産の取得による支出(△13億円)によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、162億円の支出（前年同期は、11億円の支出）となりました。これは主に、社債の償還による支出（△150億円）および配当金の支払（△21億円）によるものであります。

(4) 今後の見通し

AIやIoTの利用拡大とそれを支えるデータセンターの能力増強、自動車の先進運転支援システムの採用拡大、高機能なスマートフォンの一層の普及、第5世代移動通信システムの実用化など、より快適・安全な社会の実現を目指す流れが、今後の半導体市場およびその関連市場の成長を主導すると想定しています。

当社の主たる収益基盤である半導体試験装置市場の先行きを展望しますと、非メモリ半導体用テストシステムは、車載半導体およびディスプレイドライバ向けは堅調な事業環境が続くと予想しています。期初より伸び悩んでいる中国スマートフォン関連の試験装置需要は、当初の想定より回復が遅れており、現時点では第4四半期での本格的な回復期入りを見込んでいます。

メモリ半導体用テストシステム事業は、メモリ半導体に対する需要拡大が続く中、メモリ半導体メーカーの試験装置に対する設備投資が今後さらに加速していくと予想しています。

このような見通しのもと、当社は今期の売上の最大化、半導体試験装置市場におけるシェアの伸長、そして半導体試験装置周辺事業の強化に引き続き取り組みます。また来年度以降も良好な事業環境が続くと見込まれる中、今期進めている成長分野に対する開発投資強化に加え、足元の急峻な受注増に対応するための製品供給能力拡大への投資を、継続強化します。

通期連結業績予想については、第2四半期連結累計期間までの進捗、各事業の今後の見通し、事業拡大のための戦略投資の執行および直近の為替の状況を踏まえ、売上高は2017年7月時点の1,720億円から1,800億円へ修正します。営業利益は180億円から変更ありません。税引前利益は182億円から170億円へ、当期利益は150億円から145億円へ、それぞれ修正します。予想の前提とした為替レートは、米ドルが110円、ユーロが130円です。7月時点の業績予想の前提とした為替レートから、米ドルについては変更ありません。ユーロについては10円安の方向で見直しています。

2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
資産		
流動資産		
現金および現金同等物	95,324	91,747
営業債権およびその他の債権	32,451	30,206
棚卸資産	39,093	42,671
その他の流動資産	2,976	3,893
(小計)	169,844	168,517
売却目的で保有する資産	1,295	-
流動資産合計	171,139	168,517
非流動資産		
有形固定資産	29,915	29,408
のれんおよび無形資産	16,479	16,683
その他の金融資産	3,625	2,504
繰延税金資産	10,282	11,095
その他の非流動資産	163	484
非流動資産合計	60,464	60,174
資産合計	231,603	228,691

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
負債および資本		
負債		
流動負債		
営業債務およびその他の債務	28,489	31,819
社債	15,000	-
未払法人所得税	1,927	2,193
引当金	1,643	1,729
その他の金融負債	626	498
その他の流動負債	3,749	5,495
流動負債合計	51,434	41,734
非流動負債		
社債	29,745	29,808
その他の金融負債	39	-
退職給付に係る負債	38,865	41,326
繰延税金負債	420	286
その他の非流動負債	1,583	1,642
非流動負債合計	70,652	73,062
負債合計	122,086	114,796
資本		
資本金	32,363	32,363
資本剰余金	44,319	44,069
自己株式	△ 86,039	△ 83,712
利益剰余金	113,676	115,333
その他の資本の構成要素	5,198	5,842
親会社の所有者に帰属する持分合計	109,517	113,895
資本合計	109,517	113,895
負債および資本合計	231,603	228,691

(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書
 (要約四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

	(単位：百万円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
売上高	76,195	88,412
売上原価	△ 29,850	△ 42,956
売上総利益	46,345	45,456
販売費および一般管理費	△ 38,128	△ 38,588
その他の収益	231	580
その他の費用	△ 130	△ 36
営業利益	8,318	7,412
金融収益	908	561
金融費用	△ 111	△ 1,601
税引前四半期利益	9,115	6,372
法人所得税費用	△ 1,854	△ 1,446
四半期利益	<u>7,261</u>	<u>4,926</u>
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	7,261	4,926
1株当たり四半期利益		
基本的	41.56円	27.80円
希薄化後	37.96円	25.42円

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2016年7月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)
売上高	35,526	47,715
売上原価	△ 14,459	△ 22,839
売上総利益	21,067	24,876
販売費および一般管理費	△ 18,531	△ 20,173
その他の収益	93	499
その他の費用	△ 49	△ 16
営業利益	2,580	5,186
金融収益	411	107
金融費用	△ 55	△ 488
税引前四半期利益	2,936	4,805
法人所得税費用	△ 650	△ 870
四半期利益	2,286	3,935
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	2,286	3,935
1株当たり四半期利益		
基本的	13.07円	22.18円
希薄化後	12.00円	20.20円

(要約四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
四半期利益	7,261	4,926
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△ 10,013	1,202
売却可能金融資産の公正価値の純変動	△ 187	△ 558
税引後その他の包括利益	△ 10,200	644
四半期包括利益	△ 2,939	5,570
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△ 2,939	5,570

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2016年7月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)
四半期利益	2,286	3,935
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△ 1,111	504
売却可能金融資産の公正価値の純変動	△ 75	14
税引後その他の包括利益	△ 1,186	518
四半期包括利益	1,100	4,453
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,100	4,453

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自2016年4月1日至2016年9月30日)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
2016年4月1日 残高	32,363	44,478	△ 94,585	105,190	6,173	93,619	93,619
四半期利益				7,261		7,261	7,261
その他の包括利益					△ 10,200	△ 10,200	△ 10,200
四半期包括利益	-	-	-	7,261	△ 10,200	△ 2,939	△ 2,939
自己株式の取得			0			0	0
自己株式の処分		△ 195	2,119	△ 1,249		675	675
配当金				△ 1,746		△ 1,746	△ 1,746
株式に基づく報酬取引		175				175	175
所有者との取引額等合計	-	△ 20	2,119	△ 2,995	-	△ 896	△ 896
2016年9月30日 残高	32,363	44,458	△ 92,466	109,456	△ 4,027	89,784	89,784

当第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
2017年4月1日 残高	32,363	44,319	△ 86,039	113,676	5,198	109,517	109,517
四半期利益				4,926		4,926	4,926
その他の包括利益					644	644	644
四半期包括利益	-	-	-	4,926	644	5,570	5,570
自己株式の取得			△ 1			△ 1	△ 1
自己株式の処分		△ 250	2,328	△ 1,147		931	931
配当金				△ 2,122		△ 2,122	△ 2,122
所有者との取引額等合計	-	△ 250	2,327	△ 3,269	-	△ 1,192	△ 1,192
2017年9月30日 残高	32,363	44,069	△ 83,712	115,333	5,842	113,895	113,895

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	9,115	6,372
減価償却費および償却費	2,351	2,373
売却可能金融資産売却益	△ 226	△ 349
営業債権およびその他の債権の増減額 (△は増加)	7,979	2,525
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△ 1,160	△ 3,395
営業債務およびその他の債務の増減額 (△は減少)	1,067	3,083
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	32	87
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	941	983
その他	256	844
小計	20,355	12,523
利息および配当金の受取額	167	245
利息の支払額	△ 112	△ 48
法人所得税の支払額	△ 2,166	△ 1,691
営業活動によるキャッシュ・フロー 計	18,244	11,029
投資活動によるキャッシュ・フロー		
売却可能金融資産の売却による収入	626	851
売却可能金融資産の取得による支出	-	△ 216
有形固定資産の売却による収入	28	1,819
有形固定資産の取得による支出	△ 1,972	△ 1,289
無形資産の取得による支出	△ 225	△ 401
その他	103	39
投資活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 1,440	803
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	675	936
社債の償還による支出	-	△ 15,000
配当金の支払額	△ 1,743	△ 2,121
その他	△ 32	△ 8
財務活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 1,100	△ 16,193
現金および現金同等物に係る換算差額	△ 6,044	784
現金および現金同等物の純増減額 (△は減少)	9,660	△ 3,577
現金および現金同等物の期首残高	85,430	95,324
現金および現金同等物の四半期末残高	95,090	91,747

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自2016年4月1日至2016年9月30日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テストシステム 事業	メカトロニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	51,334	10,857	14,004	—	76,195
セグメント間の売上高	4	34	—	△ 38	—
合計	51,338	10,891	14,004	△ 38	76,195
セグメント利益(調整前営業利益)	11,507	△ 1,410	1,594	△ 3,198	8,493
(調整)ストック・オプション費用	—	—	—	—	△ 175
営業利益	—	—	—	—	8,318
金融収益	—	—	—	—	908
金融費用	—	—	—	—	△ 111
税引前四半期利益	—	—	—	—	9,115

当第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テストシステム 事業	メカトロニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	57,636	16,845	13,931	—	88,412
セグメント間の売上高	26	—	—	△ 26	—
合計	57,662	16,845	13,931	△ 26	88,412
セグメント利益(調整前営業利益)	7,687	651	1,133	△ 2,059	7,412
(調整)ストック・オプション費用	—	—	—	—	—
営業利益	—	—	—	—	7,412
金融収益	—	—	—	—	561
金融費用	—	—	—	—	△ 1,601
税引前四半期利益	—	—	—	—	6,372

前第2四半期連結会計期間(自2016年7月1日至2016年9月30日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テストシステム 事業	メカトロニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	22,651	5,734	7,141	—	35,526
セグメント間の売上高	—	—	—	—	—
合計	22,651	5,734	7,141	—	35,526
セグメント利益(調整前営業利益)	3,468	△425	960	△1,248	2,755
(調整)ストック・オプション費用	—	—	—	—	△175
営業利益	—	—	—	—	2,580
金融収益	—	—	—	—	411
金融費用	—	—	—	—	△55
税引前四半期利益	—	—	—	—	2,936

当第2四半期連結会計期間(自2017年7月1日至2017年9月30日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テストシステム 事業	メカトロニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	30,979	9,657	7,079	—	47,715
セグメント間の売上高	26	—	—	△26	—
合計	31,005	9,657	7,079	△26	47,715
セグメント利益(調整前営業利益)	5,129	731	429	△1,103	5,186
(調整)ストック・オプション費用	—	—	—	—	—
営業利益	—	—	—	—	5,186
金融収益	—	—	—	—	107
金融費用	—	—	—	—	△488
税引前四半期利益	—	—	—	—	4,805

- (注) 1. 当社グループは、ストック・オプション費用調整前営業利益(△損失)をマネジメントによる事業別セグメントの評価等に使用しております。
2. 報告セグメントの利益は、ストック・オプション費用調整前営業利益(△損失)をベースとしております。
3. セグメント間の売上高は市場実勢価格に基づいております。
4. 全社に含まれるセグメント利益への調整は、主として全社一般管理費および事業セグメントに割り当てられていない基礎的研究活動に関連する研究開発費であります。

2017年度第2四半期 決算(連結)の概要

1. 受注・受注残

(単位:億円)

	2016年度 実績	2017年度実績					2017年度業績予想	
		1Q	2Q	1Q比	2Q累計	前年同期比	通期	前年度比
受 注 高	1,647	494	562	13.8%	1,056	46.1%	(1,750) 1,880	14.2%
受 注 残	422	509	594	16.7%	594	101.1%	(452) 502	19.0%

(注)上段()の数値は、2017年7月26日発表時の予想であります。

2. 損益

(単位:億円)

	2016年度 実績	2017年度実績					2017年度業績予想	
		1Q	2Q	1Q比	2Q累計	前年同期比	通期	前年度比
売 上 高	1,559	407	477	17.2%	884	16.0%	(1,720) 1,800	15.4%
売 上 原 価	△ 662	△ 201	△ 228	13.5%	△ 429	43.9%	-	-
販売費および一般管理費	△ 761	△ 185	△ 201	9.5%	△ 386	1.2%	-	-
その他の収益	5	1	4	516.0%	5	151.1%	-	-
その他の費用	△ 2	△ 0	△ 0	△ 20.0%	△ 0	△ 72.3%	-	-
営 業 利 益 (売 上 高 比 率)	139 (8.9%)	22 (5.5%)	52 (10.9%)	133.0%	74 (8.4%)	△ 10.9%	(180) 180 (10.0%)	29.4%
金融収益・金融費用	11	△ 6	△ 4	△ 42.2%	△ 10	-	-	-
税引前当期利益 (売 上 高 比 率)	150 (9.6%)	16 (3.9%)	48 (10.1%)	206.6%	64 (7.2%)	△ 30.1%	(182) 170 (9.4%)	13.2%
法人所得税費用	△ 8	△ 6	△ 9	51.0%	△ 15	△ 22.0%	-	-
当 期 利 益 (売 上 高 比 率)	142 (9.1%)	10 (2.4%)	39 (8.2%)	297.1%	49 (5.6%)	△ 32.2%	(150) 145 (8.1%)	2.1%

(注)上段()の数値は、2017年7月26日発表時の予想であります。

3. 財政状態

(単位:億円)

	2016年度 実績	2017年度実績		
	4Q末	1Q末	2Q末	1Q比
総 資 産	2,316	2,175	2,287	5.1%
親 会 社 の 所 有 者 に 帰 属 す る 持 分 合 計	1,095	1,093	1,139	4.2%
親会社所有者帰属持分比率	47.3%	50.3%	49.8%	-

4. 配当の状況

(単位:円)

(基準日)	2016年度実績			2017年度		
	中間期末	期末	年間	中間期末	期末(予想)	年間(予想)
1株当たり配当金	13.00	12.00	25.00	9.00	17.00	26.00